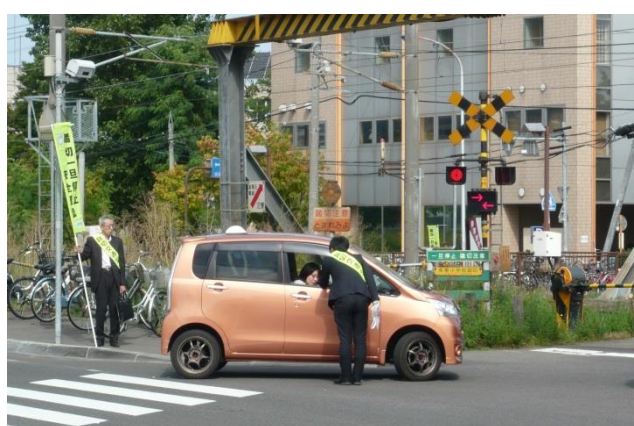


2018年9月18日

「秋の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では、平成30年秋の全国交通安全運動の実施にあわせ、北海道運輸局、北海道、北海道警察、交通関係協力団体のご協力をいただき、踏切事故の防止を図るため9月21日から「秋の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地の駅や踏切で、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」や「万が一、踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めて、まず脱出」「車が動かなくなった時には非常ボタンや発炎筒等で列車に知らせる」ことなどの呼びかけを行います。



踏切事故防止キャンペーンの様子

■実施期間

2018年9月21日(金)から9月30日(日)までの10日間

■実施内容

◎踏切における安全通行の呼びかけ

- ・踏切等でのリーフレット、ポケットティッシュ配布
- ・小中学校・幼稚園等を訪問して呼びかけ
- ・列車内での業務用放送での呼びかけ
- ・特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
- ・関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問して呼びかけ
- ・ラジオCMの放送
- ・帯広駅コンコースでのパネル展による踏切事故防止の呼びかけ

<2018年度の踏切事故>

9月上旬時点における踏切事故は発生しておりません。2017年度の同時期と比べ2件の減少となっています。このほか、車が踏切内に閉じ込められたり、踏切の直前横断により列車が緊急停止した件数は89件発生しています。これらは踏切を無理に通行しようとして発生している事が多く、一歩間違えれば悲惨な事故に繋がりがかねないです。

踏切手前での一旦停止と安全確認など、基本的な交通ルールを守ることで踏切事故をなくすことができます。また、踏切内で車が動かなくなった時には、踏切の非常ボタンや発炎筒※等で列車に知らせることが大切です。

※発炎筒は「道路電送車両の保安基準」により自動車に装備を義務付けられています。